

# 気象注意報・気象警報について

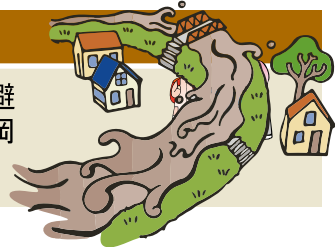
気象現象が原因で災害が起こるおそれがあると予想されるとき、岡山地方気象台が発表するものです。

警報	大雨	雨量基準 ★土壌雨量指数基準	1時間雨量50mm 102	大雨による <b>重大な</b> 災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。
	洪水	雨量基準 ★流域雨量指数基準	1時間雨量50mm 高梁川流域=49, 成羽川流域=34 有漢川流域=11, 佐伏川流域=8	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、 <b>重大な</b> 災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。
注意報	大雨	雨量基準 ★土壌雨量指数基準	1時間雨量30mm 81	大雨による災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。
	洪水	雨量基準 ★流域雨量指数基準	1時間雨量30mm 高梁川流域=39, 成羽川流域=27 有漢川流域=7, 佐伏川流域=6	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。

- ★土壌雨量指数：降った雨が土壌中にどれだけ貯まっているかを見積もり、土砂災害の危険を示した指数。
- ★流域雨量指数：流域で降った雨の量や流下する時間などを考慮し、対象区域の洪水の危険度を表現した指数。

## 土砂災害警戒情報

大雨警報（土砂災害）発表中に土砂災害発生危険性が高まったとき、市長による避難勧告等を発令する際の判断や、市民の自主避難等に役立ててもらうため、岡山県と岡山地方気象台が市町村単位で共同発表する防災気象情報。



## ■ 特別警報

平成25年8月から、新たに「特別警報」がスタートしました。これは、「東日本大震災」や「伊勢湾台風」といった、誰もが一度は聞いたことがあるような大災害が起こるおそれがある時に、住民の皆さんに最大限の警戒を呼びかけるものです。特別警報が発表された場合は、お住まいの地域ではこれまで経験したことのないような非常に危険な状況にありますので、ただちに命を守るための行動をとってください。ただし、特別警報が発表されない場合でも災害が発生するおそれがあるので、注意報や警報、その他気象情報等の把握に努めてください。

### 『特別警報』の発表基準

現象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	
津波	高いところで3mを超える津波が予想される場合 (大津波警報を特別警報に位置づける)	
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 (噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける)	
地震(地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)	



気象庁「特別警報リーフレット」より引用